素手で触れる

園長先生が園庭の畑で育てているじゃがいもを子どもたちに収穫してみない？という声掛けで急遽始まった「ジャガイモの収穫」とても寒いお昼過ぎでしたが、子どもたちは喜んで園庭に出かけ楽しむ姿が見られました。

急遽ではあったので手袋などは用意できなかったのですが子どもたちは素手で土に触れ、葉を抜き、実際に掘ってじゃがいもを探す。という姿がありました。そのとき、Yちゃんが「あったかい！」と気づきを教えてくれました。先日行ったサツマイモの収穫。そのときは手袋越しに畑の土に触れていた子どもたちです。これまで手袋をして収穫をするということが当たり前だったため、そのことをあまり深く考えていなかったのですが、「素手で作物に触れる」「土の中を探り自らの手で掴み取る」この経験は手袋越しではなく、素手であることに大きな意味があったのではないかという気づきを与えてくれました。収穫したじゃがいもは以前収穫したサツマイモよりずいぶん小さいものですが、本当の意味で自分の手で掴み取った時の感動は子どもたちの表情が教えてくれているように思いました。

2025/12/03